

江渡のぶたか 後援会だより

情熱！

行動！

勇気！

十和田市を元気に！をモットーに
江渡のぶたか後援会だより第1号をお届けします！

江渡のぶたか後援会事務所

〒034-0011 青森県十和田市稲生町 15-12

☎090-8789-5635



江渡のぶたか ご挨拶

残寒の候、皆様風邪などおそろわずにお過ごしでしょうか。昨年度より新庁舎建設予定地である市役所本館西側の支障物件の撤去工事がはじまっており、皆様には大変ご迷惑をおかけしています。市民にとって使いやすく、効率的な行政運営を可能にし、防災拠点となる庁舎を基本に設計されています。平成31年度完成予定です。もうしばらくの間ご迷惑をおかけします。

先日、知り合いの方が還暦を迎えられました。還暦とは、60年で干支が一回りして再び生まれた年の干支にかえることから、元の暦に戻るという意味でこのように呼ばれているそうです。今年が戌年。60年前の戌年には何があったか調べてみました。昭和33年は十和田市が誕生して100年目だったそうで、「十和田市開拓100年祭」が大々的に開催されました。太祖塚で新渡戸傳の銅像除幕式もあった年でもあります。当時、二本木病院という病院がありそれを買収して十和田中央病院を発足したそうです。市消防庁舎や上下水道は建設中で未完成、また、当時は市内に信号機は一つもなかったそうです。

国内では戦後経済復興期の真っ只中、右手にロマン左手にはそろばんの時代でした。国民健康保険法交付。東京タワー完成。初めてのインスタントラーメン。チキンラーメンが出来た年。野球界では巨人、長島茂男選手、4連続三振で公式戦デビューしたのもこの年だそうです。活気があり、夢を持って一日一日を生活していたのでしようね。

私は、市議会議員の活動を決して難しい言葉を並べるばかりでなく、皆さんの声をこの耳で聞き、見に行き、手で触れ、その実感を議会に届けることだと思っています。議員活動でも、沢山の方々から教えていただき現場の意見を頂戴しました。この場をお借りし、お礼を申し上げます。60年前の様に（元に戻り）活気ある十和田市になるよう一層頑張ります。

後援会長挨拶

日頃より関係各位の皆様に対しましては、ご支援ご尽力に感謝を申し上げます。

さて、私たちを取り巻く社会は、これまでに経験したことの無い多くの難題を抱えております。少子高齢化社会突入した現在、本格的な対策が急がれます。皆様方が安全で安心し、将来に希望が持てる十和田市にする為におおいに働いてもらいたいと思います。

江渡信貴議員はもとより、後援会といたしましてもこれまで同様、江渡信貴の政治活動を支えて参りますので、今後とも江渡信貴後援会の諸活動に対しご指導いただけますようお願い申し上げます。

江渡信貴後援会

会長 下久保 淳一

十和田市を元気に！

江渡信貴だからできること！

人と人をつなげる事！

教育支援

育児支援

雇用

世代間
コミュニケーション

地域コミュニティ

住みよい環境

全ての政策を 少子高齢化対策に集中！

出会いのサポートについて

私は、少子高齢化社会が進む中、結婚支援・雇用・育児支援・教育・世代間コミュニケーション・地域コミュニティ・住みよい環境の政策として掲げております。今回はそのうちの結婚支援の中で「出会いサポート」について私の思いを書かせていただきます。

今の世の中、出会いの場が少なくなってきました。昔は集落などには必ず「おせっかいおじさん」や「おせっかいおばさん」が多かったです。

「あそこの太郎くんは結婚相手がいないみたいだ。」「太郎くんと花子さんをくつつけるべし」とおせっかいをしていたもんでした。その後、結婚した太郎くんは、重い荷物を持ち道を歩く「おせっかいおじさん・おばさん」を見て、荷物を持って助けてあげたりしていました。昔は近所に住むお互い同士が助け合って生きてきたのです。昔のような「お互いのことを想い合う」環境が必要だと思います。不安を解消できるとも思いますが、出会いを演出させるような「おせっかいおじさん・おばさん」の存在を市役所へ。その他に子育て支援も含めて横断的に相談できる「コンシェルジュ」のようなサポートセンターを市役所内に設け、また、そのような市民団体と連携を強めていってほしいと訴えてきました。

その思いが通じ、現在「地方創生・婚活支援係」ができ、様々なイベントや事業を展開していただいております。